

日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

第1回 審議会

■日 時 : 平成27年8月10日(月) 13:30-15:45

■場 所 : 日田市役所 庁議室

■出席委員 : 15名中14名出席

飯田委員 日隈委員 石橋委員 高山委員 河津委員 井上委員 永松委員 諫山委員
篠藤委員 岩里委員 伊藤委員 藤吉委員 笹山委員 石松委員 海老原委員(欠席)

■次第

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ

4. 会長・副会長選任

立候補者がなく、事務局提案として、会長に篠藤委員、副会長に高山委員が提案される。

全員一致で承認され、篠藤委員が会長となり、議事を進行する。

5. 会長あいさつ

6. まち・ひと・しごと創生について

7. 議題

(1) 日田市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョンについて

(2) その他

8. 閉会

発言者	主 旨
市長あいさつ	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>本日はお忙しい中に「第1回日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」に参加いただき有難うございます。ただいま皆様方に委嘱させていただきました「まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」は、今回の総合戦略に関する諮問に応じていただきながら、必要な事項を審議していただき、その結果を答申していただくこと、また、総合戦略の進捗管理についてもご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>また、ご案内のとおり、昨年5月に「ひと・まち・しごと創生法」が制定され、自治体に対しても、今年度中に総合戦略の策定が求められており、限られた時間、非常に短いものですが、この総合戦略をまとめていきたいと考えているところでございます。</p> <p>また、人口ビジョンでは、市が目指す将来人口を設定いたします。達成する手段については、総合戦略に掲げ、施策一つ一つを具現化していかなければいけません。皆様方には、忌憚のないご意見を頂き、実のある総合戦略を作って参りたいと思っております。</p> <p>慎重なるご審議を心よりお願いしてご挨拶とさせていただきます。</p>
会長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>ただ今、会長になりました、別府大学の篠藤でございます。私は日田市外からの参加になりますが、皆様は日田市で重要な役目を担っている方々でございます。</p> <p>そういう意味では、私が学識経験として無責任に体よくやろうとは考えていません。昨年開催されました、日田市自治基本条例制定シンポジウムでコーディネーターを務めさせて頂いた時にも申し上げましたが、子育て問題などいろんな問題は、これから5年間で勝負になります。</p> <p>この5年間は日田市を決定づける非常に重要な5年間となり、こういう問題に関われることは非常に光栄であると同時に、皆様方と一緒にこの問題を考えていきたいと思っています。微力ではありますが、どうぞ宜しくお願い致します。</p>
会長	<p>それではこれから議事を進めていきたいと思いますが、その前に、会議が成立しているかを事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>審議会は設置要綱第6条第2項において、委員の半数が出席しなければ会議を開くことはできないとされています。</p> <p>現在15名の委員のうち、13名が出席されておりますので、本日の会議が成立することをご報告いたします。</p>
会長	<p>有難うございます。それでは早速「まち・ひと・しごと創生について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>6. まち・ひと・しごと創生について</p>

	<p>■「まち・ひと・しごと創生について」国の動画を視聴</p> <p>■まち・ひと・しごと総合戦略の経過について説明</p> <p>■多様な市民の意見を反映した計画づくり</p> <p>■大分県人口ビジョン(たたき台) について説明</p> <p>本日は、「日田市人口ビジョン(たたき台)」についてご意見をいただければと思います。</p> <p>今後の予定としましては、11月中の策定を予定しておりますが、限られた時間ではありますが、できる限り市民の皆様との意見交換が大切と考えております。国は今年度中の策定を求めていることから、場合によっては現在のスケジュールを見直すことも考えており、変更する場合は、次回審議会等でスケジュールをご報告いたします。以上簡単ではございますが「まち・ひと・しごと」の説明でございます。</p>
会長	有難うございました。先ほど国のDVDやこれまでの経過について説明がありましたが、ご意見・ご質問等ございましたらどうぞ宜しくお願い致します。
委員	市民意識調査については、次回まとまったものを報告するということでしたが、円卓会議・分野別個別検討会議のまとめについてはどのようになっていますか。
事務局	現在意見集約を行っており、それにつきましても10月に開催する審議会でご提示したいと考えています。
委員	事務局から「多様な市民の意見を反映した計画づくり」をしてきたとありますが、資料をみると本当にこの短時間で日田市をこうしたいという意見が出てくるのか。一応、このような取組みで、意見を反映したことになるかもしれないが、実際にはもう少し検討して中身を濃くした方が良いと思うことが個人的には多々あるが、そこについてはどうですか。
事務局	<p>その通りでございます。市民の皆様には人口減少問題について出前懇談会等で説明しておりますが、その場でご意見を下さいと言いましても、なかなか意見はでないと言われることもあります。</p> <p>事務局としては、今回の総合戦略策定につきましては、国が各自治体にお願いする日程から、年度内に策定しなければ28年度からの財政支援を受ける事ができません。現在予定しております日程で進みつつ、まずは市民の皆様のご意見を可能な限り伺い、総合戦略に反映したいと考えています。</p> <p>また、総合戦略は今回策定したから終わりではなく、雇用創出や子育て支援などは息の長い取り組みになります。従いまして、毎年、PDCAサイクルを用いて計画を検証し、必要に応じて見直しを行っていきたいと考えています。</p>
委員	今年度の総合戦略の完成度は、どの程度になると考えているのでしょうか。
事務局	総合戦略については、国の4つの基本目標に沿う形で進めていくことになりま

	<p>す。例えば雇用の創出について施策の数値目標等を設定し、優先順位等を含め、今後4年間進めていくこととなります。また、毎年度の検証によって多少変更等もあると思います。完成度ですが、現在の考えられる範囲での100%を予定しています。</p>
委員	<p>新型交付金との関係はどうなるのでしょうか。</p>
事務局	<p>先ほどお配りした資料、新型交付金の事業に関する新聞記事(7/29)の中に、交付金については26年度補正での規模1700億円を上回る予算を要求していましたが、実際には1000億円程度となっております。27年3月に交付されました交付金規模から算定しますと、日田市への交付額は約6000万円程度となります。</p> <p>策定した総合戦略による事業実施については、国からの交付金を活用しつつ、その他は市費（一般財源）での対応となります。</p>
会長	<p>今、両委員から本質的な部分の質問がありましたし、事務局からも国の財源の枠が厳しいと、なかなか大変な部分も分かりました。他の委員からご質問はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど市の実施計画に反映させるとありましたが、間に合うのでしょうか。来年度になるのでしょうか。総合戦略の事業としてするのではなく、日田市の事業の中にそれぞれが入り込んでいくという考えで宜しいのでしょうか。</p>
事務局	<p>総合戦略に盛り込まれる施策に基づく事業の検討は、実施計画査定中になると考えていますが、最終的には28年度の実施計画に反映させる予定です。また、国・県の総合戦略についても、具体的な計画等が見えない部分がありますので、国・県と市がどのように事業連携していくかを見極めているところです。</p>
会長	<p>他にご意見はございませんでしょうか。それでは次に参りたいと思います。</p> <p>次は「日田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(たたき台)」について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>■「日田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(たたき台)」について説明</p>
会長	<p>最後の説明で、「独自推計1・2・3」とあり、事務局では独自推計2を予定しているとありますが、この審議会で、本日この独自推計をどれにするか決定しなければいけないのでしょうか。</p>
事務局	<p>審議会の皆様には、総合戦略については諮問・答申を予定しております。人口ビジョンにつきましては、ご説明させていただいて、ご意見を頂き参考とさせて頂きたいと考えております。</p>
会長	<p>分かりました。事前に資料送付していただきましたが、読んで理解するのは非常に大変です。</p> <p>一つは過去に起こったことは事実です。その事実には課題・根拠があり、今後を推計する場合に、仮定値をどう設定するかによっていろいろ変わってきます。今回、課題・根拠と仮定が一度に報告されていますが、皆様からご質問はございますでしょうか。</p>

委員	日本創成会議の人口推計について、消滅可能性都市の部分の説明は必要となるが、日田市の将来人口を設定する所で掲載する必要があるのか。
事務局	地方創成会議の推計では日田市も消滅可能性都市となっている現状や、国の人口ビジョンでも「社人研」、「日本創成会議」の推計値を背景として人口ビジョンを策定していることから日田市の人口ビジョンにも掲載しております。
会長	日本創成会議は、今後も人口移動が変わらないとしており、社人研は人口移動が減少していくとあるが、なぜ減少するかという根拠は何かという疑問もあります。委員の意見は何故、ショッキングなものをだすのかということだろうと思います。
事務局	「社人研」、「日本創成会議」のパターン1とパターン2については、国が全国の自治体に提供したデータに基づき作成しているところです。確かに「消滅可能性都市」という表現は非常にショッキングですので、ここの扱いについては今後検討いたします。
事務局	先ほど事務局からありましたが、この審議会ではここで確定するというのではなく、ご意見を頂いて計画を策定することですので、他にご意見はありませんでしょうか。
委員	独自推計で、合計特殊出生率を2.3と設定しているが、戦後の第1次ベビーブームの際の合計特殊出生率がどの程度だったか。 また、近隣他市町村も総合戦略において、社会増を考える中で、日田市の社会増の設定の根拠がどのくらい実現可能と考えていますか。
事務局	国は2060年に人口が20%減少、大分県は17.9%減少すると設定しています。また、現在把握している県内の他市では、大分市は5%程度ですが、他市は21~30%程度となっています。日田市は25%程度であり、数字合わせではありませんが、福岡にも近いなどの地理的優位性等から考えても妥当な推計ではないかと考えています。 また、戦後の合計特殊出生率については、手元に資料がないため推測での回答となりますが2.7程度あったかと思えます。また、今回の合計特殊出生率の2.3は市民意識調査に基づいたもので、県も同じ値となっています。 昨日の新聞にも九州各県強気の人口想定との報道がありましたが、委員のご意見の通り、人の奪い合いで、その中でどこからその人は来るのかとありますが、日田市の活力維持を考えれば、少し背伸びした数字かもしれませんが、事務局案として提出しています。
会長	基本的には「推計」と「ビジョン」の言葉の取り方だと思います。 先ほどの委員の質問から言うと本当にそういうことが起こり得るのかということだと思います。しかしながら先ほどの事務局からの説明は、国が目標を立てて、そこに向けて頑張る、県もそれに合わせて目標値を立てている状況です。この目標は、なかなか大変です。本当に達成が可能なのかとなりますが、これは国策として進めており、日田市もそれに合わせて頑張る目標だと思います。他にも

	ご意見はありませんでしょうか。
委員	人口減少になるという推計なので、総合戦略に掲げる施策をどうするのか。市民の声をどのように活かすのか。国・県と連携した事業をどうするかが必要になると思う。
委員	独自推計2で生産年齢層を150人増やすとあるが、雇用をどの程度考えているか。男女間をどの程度考えているか。
事務局	今回は、先に、人口ビジョンを策定し、目標とした将来人口の達成に向けてどのような戦略を立てるかという作業の順番になっています。ですので、男女・年齢等も次回以降の審議会での議論になるかと考えています。今後、雇用数値目標を設定するにあたって、施策を積み上げ、実行可能かどうかを検討して、人口ビジョンの変更もあり得ると考えます。
委員	実際には、2040年の目標56,000人程度を下回らないようにどのように頑張るかということで努力目標として考えてよいのでしょうか。
事務局	国は2060年までを見据えた人口ビジョンの策定をとの考えです。どうしても無理な場合は2040年までの目標をとのことで。先行して策定している自治体の多くは、2060年までの目標値を設定しています。委員の考えのとおり、2040年も考えながらビジョンを固めていきたいと思えます。
委員	基本的なことですが、なぜ2060年を目標としているのでしょうか。
事務局	国の人口ビジョンが2060年で1億人を維持する目標を設定していますので、それに合わせて2060年としています。
委員	事務局からの説明を聞いて、国からの指示が強いのではと感じました。当初の地方創生の意味とかけ離れており、これまでと同じものしかできないような気がしますでしょうか。
事務局	総合戦略については、市民の皆様の意見をお伺いし、日田市独自のものをとを考えています。人口ビジョンについては、国のある程度のラインに基づき考えなければいけないかと考えています。
委員	人口移動について、日田市は、福岡への移動が多いと思いますが、何故、福岡に行っているのかという資料はないのでしょうか。
事務局	データの確認を再度致しますが、転入・転出している年代から理由を想定して考えることは出来ますが、根拠を持って何が原因なのかを把握することは現状では難しいと考えます。
会長	次回以降、総合戦略を立てる際にこの原因が何であるかなどを推測できないとこれから立てる戦略として有効な施策とならない場合があります。ほかにご意見ございませんか。

委員	<p>まちづくりに関するアイデアを7月末までに募集して、まちづくりに関するアイデアが人口増とどうつながるかが分からない。</p> <p>日田市がきれいな街になれば、人口流出が抑制されるという考えなのか、まちづくりで人を呼ぼうという考えなのか</p>
事務局	<p>資料にはまちづくりと書いてありますが、地方創生に資するアイデアを募集しており、現在23名34項目の提案を頂いております。</p> <p>例えば、日田市をペットタウン化する取り組みとして、福岡に通勤するための交通手段の充実等の提案を頂いております。このことから先般、JR・高速バスの調査を担当課がしております。その調査期間では、100名近くが通勤・通学しており、その方々のニーズ調査を行い不便な部分などお聞きしています。</p> <p>また、そのことから逆に、日田市出身で福岡に住んでいるが、通勤に便利な手段があれば、日田市に戻ってこようと考えられないか。など、そういうものについて施策として取り上げるかどうか今後の議論になると思います。</p>
会長	ほかにご意見ございますか。
委員	<p>先ほど教育分野の件で、日田市で子育て環境が整っているというお話がありました。環境といっても、仕事と子育て・出産の関係でいえば、福祉分野の検討会でもありましたが、勤めていても産休を取りづらい、会社を辞めないといけない、子どもが病気の時に休みが取れないとか、が現実の環境です。こういう問題について、国が中小企業を応援する事業はあるが、日田市の企業ではなかなか難しく、国が2060年に人口1億人を目指すのであれば、国がどういうものをするかを示してもらわないと、日田市版総合戦略で合計特殊出生率を2.3といってもなかなか難しいと思う。</p>
事務局	<p>国・県の考えで実行するわけではありませんが、国は地方創生と大々的にPRし、今回が最後の取組だとも発言しています。ですからそれなりの対応をしていただきたいと考えております。石破大臣もUターン者への奨学金なども考慮すると発言していたが、どのような施策を考えているのか、県の施策がどうなるのかを見極めていきたいと思っております。</p>
委員	そういうことについて、日田市からの提言として国にあげてはどうか
事務局	<p>提言については、全国市長会等から要望するのか、日田市独自で行うのがいいのか分かりませんが、要望等は取り組んでいきたいと思っております。</p>
会長	<p>今、戦略について議論をしております。先ほどからの意見として国も当然、国の施策として動くであるだろうということ、その動きに合わせて日田市も動いていくことが必要だろうということ。それから、国のメニューにあがっていないことでも、日田市から提言すべきではないかということだと思います。</p> <p>例えば、企業の地方進出のメニューが国であれば、日田市に来てほしいということで、受け皿は日田市が作るとか、私は大学の私学助成を面積比で割るなど提言している。次回以降になると思うが、通勤・通学の問題に対する施策、奨学金なども出てくるのではないかと思います。</p>

	<p>今日は人口ビジョンについて、なかなか難しいが目標として進めていこうという説明がありました。いかがでしょうか。他の委員からもこれだけはというようなご意見はないでしょうか。</p>
委員	<p>地方創生に関して先日視察に行ってきました。視察先では、定住人口と交流人口をプラスして、地域活力人口として、交流人口を維持するための施策を考え、具体的には、企業研修誘致・大学学生研修の誘致など掲げていました。定住人口を増やすのは、非常に難しいが、交流人口を増やして定住につなげるという施策です。日田市もそういうことを考えてはどうか。</p>
事務局	<p>総合戦略は今年度策定しますが、来年度が総合計画の策定年度でありますのでそれを含めて検討します。また、交流人口についても検討していきます。</p> <p>アイデア募集の中に「ふるさと市民」という提案がありました。九州では五島市が取り組んでいます。例えば日田出身や日田が好きだという方をふるさと市民として登録してもらい何らかの協力をお願いするというものです。</p> <p>こういったものも考えながら様々なことに取り組んでいきたいと思えます。</p>
会長	<p>いろいろとご意見を頂きました。ちなみに別府市では、以前の観光客が400万人とありましたが、現在は280万人くらいだろと言われていています。これを365日で割ると7000人くらいになります。人口は12万人ではなく、観光客も入れて13万人となる。</p> <p>人口概念もこのような観点で考えることもでき、それについては総合計画の中で検討していくことが必要となります。</p>
委員	<p>国の資料をみると「まち・ひと・しごと」では人口ビジョンと総合戦略が一つになっている。人口ビジョンだけで審議するのは難しい。</p>
事務局	<p>今日は総合戦略を策定するなかでの目標値として、人口ビジョンを提示しました。総合戦略については、2回目以降ご提案させていただきたいと思えます。</p>
会長	<p>本日は、人口ビジョンについてご意見を頂きましたが、その他事務局からありますでしょうか。</p>
事務局	<p>■「まち・ひと・しごと総合戦略 今後の予定」について説明 第2回の審議会を9月下旬から10月上旬を予定しています。</p>
会長	<p>宜しいでしょうか。それでは予定しておりました議事が終わりましたが、今日は本当にいい意見ができました。今後とも宜しくお願いします。有難うございました。それでは進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>委員の皆様もお忙しい中、ご審議いただき有難うございました。日田市版の人口ビジョンについて、たくさんのご意見ご指摘を頂きましたので、検討していきたいと思えます。</p> <p>また、大変厳しいスケジュールにはなりますが、委員の皆様には今後ともご協力をお願い致しまして閉会の挨拶とさせていただきます。本日は長時間大変有難うございます。以上をもちまして会議を終了します。</p>